

【別紙】

提案書評価項目及び評価基準

(第43回全国都市緑化フェアin京都丹波行催事実施運営業務委託)

評価項目	評価基準	評価
1 事業目的の理解度		/10
(1)事業目的の理解度	<ul style="list-style-type: none"> ・京都丹波地域の多様性や魅力、自治体の規模を理解したうえで、行催事実施運営業務として具体的な事業の計画的かつ効率的な推進に向けて、業務に対する考え方や方向性が的確に示されているか。 ・フェア開催後の京都丹波地域の持続的な発展や活性化につながる事業展開が明確に示されているか。 	/10
2 実施体制		/40
(1)実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容に対して、遂行可能な人員が確保されているか。 ・役割分担が明確かつ適切であるか。 ・本実行委員会の要望等に迅速・柔軟に対応できる体制が備わっているか。 	/10
(2)類似業務の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全国都市緑化フェアの行催事実施運営に関する業務のほか、これに類する業務の契約実績がどの程度あるか。また、行催事実施運営の調整等に伴う業務実績がどの程度あるか。 	/10
(3)実施能力	<ul style="list-style-type: none"> ・組織として、実施内容に関する幅広い知見、情報収集能力を有しているか。 ・円滑に業務を遂行するためのバックアップ体制、管理体制が示されているか。 	/10
(4)地域経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の参画、市内事業者の活用など、地域経済活性化の促進に努めているか。 	/10
3 企画提案		/50
(1)業務実施の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施のプロセスが妥当であるか。 ・スケジュールに無理はないか。 	/10
(2)現状把握	<ul style="list-style-type: none"> ・関係資料やデータの収集、調査、集計、分析、とりまとめ方法等がわかりやすく示されており、本実行委員会の求める内容となっているか。 	/10
(3)行催事実施運営	<ul style="list-style-type: none"> ・行催事実施運営のための関係資料やデータの収集、調査、集計、分析、とりまとめ等の行催事の構成・演出等についてイメージパースを作成するなどのとりまとめ方法等がわかりやすく示されており、本実行委員会の求める内容となっているか。 	/10
(4)独自視点及び創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者のこれまでの業務経験やノウハウ、ネットワークを活かした、独自の視点や創意工夫が表現された提案内容となっているか。 	/10
(5)見積の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書を適切に反映した見積内容となっているか。不適当な金額設定となっていないか。 	/10
合 計		/100